

「ドラマ 『VIVANT THE ORIGIN STORY』」は
農地で生み出された自家創出の再エネを活用して制作！
TBS GX が仕掛ける初のドラマコラボ「#感動発電」とは？



TBS グループの脱炭素を推進する株式会社 TBS Green Transformation (以下、TBS GX) は、7月26日(日)から第2シーズンがスタートする日曜劇場『VIVANT』のサイドストーリーで、7月22日(水)に最終回がU-NEXTで独占配信された『ドラマ 『VIVANT THE ORIGIN STORY』』とコラボし、ドラマ作りにおける脱炭素の取り組みを「#感動発電」として対外的に発信していきます。

TBS GX では、「ストーリー性のある発電所の建設」を通じ、農業などが抱える社会課題を解決しながら、再生可能エネルギーを作り出す「営農型ソーラーシェアリング」を推進しています。6月からは、福島県矢吹町の牧草地の上で発電した電力が、緑山スタジオ(横浜市青葉区)に供給されるようになりました。6月に同スタジオにて撮影がおこなわれた本作の制作にあたっては、まさにこの電力が、一部使われたのです。引き続き、TBSのコンテンツ制作拠点である緑山スタジオを、世界に誇れるサステナブル・スタジオにすべく、クリーンエネルギーに転換する取り組みを加速させてまいります。

■「#感動発電」とは

本作を支える電力が生み出されたのは、福島県矢吹町にある農地（牧草地）。ここでは、アニマルウェルフェア（動物福祉）に考慮した牛の放牧が行われています。

夏の炎天下では、太陽光パネルが作る日陰が牛たちを暑さから守る重要な役割を果たしています。また、広々としたパネルの下で牛が歩き回って運動することで足腰や骨格が柔軟になり、自然分娩の成功率が向上するなど、牛の健康と新しい命の誕生にもつながっています。さらに、牛が自由に歩き回ること、土地が自然と耕される効果や、尿による窒素供給などにより、耕作放棄地の再生や土壌改良に大きく寄与するという、環境と調和した循環型農業が実現しているのです。

■TBS GX の事業概要

2025 年 6 月に株式会社 UPDATER と共同で設立。営農型太陽光発電所などを建設していく発電事業、第三者からの再エネ調達事業そしてグループ各社 への脱炭素支援事業を展開します。将来的には、グループ外への事業展開も検討していきます。まずはTBS グループのコンテンツ制作拠点である緑山スタジオに対し、再エネ供給を進め、「世界に通用するサステナブル・スタジオ」へ歩みを加速させます。

■TBS GX コーポレートサイト：<https://www.tbsholdings.co.jp/TBSGX/>



<本リリースに関する問い合わせ先>

株式会社TBSホールディングス サステナビリティ創造センター ESG 統括部

電話：03-5571-2541

メール：tbs-gx@gr.tbs.co.jp